



ひろしま たかし  
廣嶋 隆 議員



録画映像は  
こちらをCHECK

# 避難所に 保健センター がないのは

## 答 福祉避難所 として利用

**問** 吉岡町保健センターが<sup>※1</sup>指定避難所に入っていない理由は、町民生活課長 福祉避難所として利用し、特に医療の対応を必要とする人の避難を考えて見送った。

**問** 自治会施設が地震対応に適していない理由は、

**答** 町民生活課長 新耐震基準が定められた昭和56年6月1日以前に建てられた施設は、耐震性が弱いことが考えられる。

**問** <sup>※2</sup>指定緊急避難場所<sup>※2</sup>に不適切な「災害時避難場所」の標識プレートがあるので修正を。

**答** 町民生活課長 今年度以降、随時修正・設置を検討。

**問** 「吉岡町災害ハザードマップ」内の指定緊急避難場所の表示が見にくいので対策を。

**答** 町民生活課長 今後、資料を作成する時や、「吉岡町災害ハザードマップ」の更新時には、自治会ごとの区分を考慮する。

**問** 各指定避難所の収容人数は何人か。

**答** 町民生活課長 駒小1200人、明小1500人、吉中3千人、八幡山グラウン



全戸配布した「吉岡町災害ハザードマップ」

**問** 町民生活課長 来ド3千人、町民グラウンド2千人。他の避難所は今後、地域防災計画の更新時に示したい。

**問** 防災倉庫の備蓄状況は。

**答** 町民生活課長 防災倉庫を町内17カ所に設置。各自治会分を除いた備蓄状況は、食料は全部で1万8920食。5千人なら1日分になる。今後さらに災害時協定などを結び、確保を進める。

**問** 町長が所信表明で触れた、消防防災総合訓練の予定と内容は。

**答** 町民生活課長 11月10日に予定。「吉岡町災害ハザードマップ」を使い、住民の避難と自主防災組織の対応、消防団の支援などの訓練。

**問** 自治会の地域防災体制の充実を。

**答** 町民生活課長 自主防災組織活動補助金年間2万円と、防災用資機材費補助金年間3万円は、予算の関係もあり検討したい。

## 地震への学校の安全対策は

### 答 通学路の現地確認を実施

**問** 平成30年6月の大阪北部地震で、小学生在がブロック塀の下敷きとなる事故が発生。事故後の町の対応は。

**答** 教育委員会事務局 長 急ぎよ、小中学校の安全点検を実施、吉中ブロック塀の改修工事が平成30年9月に完成。

**問** 産業建設課長 通学路の現地確認を実施。改善が必要なブロック塀7カ所のうち、3カ所は改善。残り4カ所は引き続き改善のお願いをしていく。

### ミニ解説

<sup>※1</sup>指定避難所  
災害が発生した際に、家が壊れるなど行く当てがない住民を、必要な期間滞在する学校などの施設。

<sup>※2</sup>指定緊急避難場所  
津波、洪水、地震等、災害が発生した際にとりあえず避難する丈夫な建物や広場のこと。災害ごとに異なる。



かなや やすひろ  
**金谷 康弘** 議員



録画映像は  
こちらをCHECK

# ジョイフル 夏頃の都市計画 決定は

## 答 年内を目標に 県と協議中

**問** 昨年第4回定例会の私の一般質問

「ジョイフル本田の農政協議の進捗状況は」で、前町長は「夏頃には都市計画変更手続き・都市計画決定を見込んでいる」との答弁だった。現在の状況は。

**答** 産業建設課長 夏でなく、年内を目標に県と協議中。

**問** 町は県と協議し、

必要な手続き・作業など昨年のうちから同時進行で行い、準備してきた。この遅れは、手落ちがあったのか。  
**答** 産業建設課長 手落ちではない。農林調整にて協議事項の

整理や資料作成などで、当初から数カ月遅れた。

**問** ジョイフル本田の敷地12ヘクタールの、開発後の固定資産税概算は。

**答** 財務課長 2千万円程度になると見

**問** 前田堰水田作組合の吉岡川取水口は、土のうや石を積み上げ堰を設けているが、少しの雨ですぐに流される。改善策を。

## 前田堰吉岡川取水口の改善を

## 答 水田作組合と連携し関係機関と協議

**問** 前田堰水田作組合の吉岡川取水口は、土のうや石を積み上げ堰を設けているが、少しの雨ですぐに流される。改善策を。

**答** 町長 水利の状況など調査把握し、関係機関との協議を検討。

**問** 産業建設課長 前田堰水田作組合と連携し、渋川農村センターや渋川土木と相談・協議。

**問** ジョイフル本田の案件、町長はいかように認識しているか。

**答** 町長 町の事業のなかにおいて、最重要案件の一つと認識。

**問** 農業用水における泥上げ作業に支援を。

**答** 産業建設課長 「多面的機能支払交付金制度」を活用し、個々の作業の軽減や、農業用水路の質的向上につなげたい。

込んでいる。

**問** 林道粟籠・井堤線が自害沢を横断するのに、擁壁がデ・レイケ堰堤自害沢9号に当たると聞

**答** 町長 工事にあたり細心の注意を払い、万一支障を来す場合は工法などの変更も視野に事業を進める。

**問** 林道がデ・レイケ堰堤自害沢9号を横断する必要があるのか。

**答** 産業建設課長 計画路線については、デ・レイケ堰堤も考慮したうえで、支障

**問** だが、現在契約手続中と聞く。令和2年度中の供用開始を目指し、関係機関と連携を図る。

**答** 町長 不調が続いたが、現在契約手続中と聞く。令和2年度中の供用開始を目指し、関係機関と連携を図る。

**問** 町長 不調が続いたが、現在契約手続中と聞く。令和2年度中の供用開始を目指し、関係機関と連携を図る。

**答** 町長 不調が続いたが、現在契約手続中と聞く。令和2年度中の供用開始を目指し、関係機関と連携を図る。

**問** 町長 不調が続いたが、現在契約手続中と聞く。令和2年度中の供用開始を目指し、関係機関と連携を図る。

**答** 町長 不調が続いたが、現在契約手続中と聞く。令和2年度中の供用開始を目指し、関係機関と連携を図る。



少しの雨ですぐに流されてしまう取水口堰堤



いがらしよしかず 五十嵐善一 議員



録画映像はこちらをCHECK

# しだれ桜並木の除草作業に助成を

**問** しだれ桜並木の除草作業に町の助成を。

**答** 町長 渋川土木事務所とも協議連携しつつ、有効支援策を検討していきたい。

**問** 漆原緑地運動公園南端に続く、利根川河川敷にプレーパークの整備を。

**問** 船尾自然公園パークベキュー広場内の水車修理計画は。

**答** 産業建設課長 冬季閉鎖期間の管理・安全体制が確保され

**答** 産業建設課長 本年度から具体的検討に入る「第6次吉岡町総合計画」の中で協議していきたい。

## 有効支援策を検討していきたい

**問** 河川環境の保全に關する条例の制定を。

**答** 町長 同じ河川が所在する渋川市や榛東村の意見も聞きな

**問** 町民生活課長 平成18年度から町内5河川で、6項目にわたる水質検査を毎年実施。30年度は全てが基準値以下であった。

**問** 要望書決裁の現状は。

**答** 町民生活課長 草刈りなどの軽微な要望は課長決裁。それ以外は町長決裁である。

## 町長による成年後見申し立ての現状は

**答** 平成29年度4件、30年度3件と低調

**問** 町長による成年後見申し立ての現状は。

**答** 町長 平成29年度4件、30年度3件であった。

**問** 自治会長経由の要望総数と対処済みの数は。

**答** 町民生活課長 平成28年度から31年3月末までの要望総数434件。実施済み数は270件であった。

**問** 健康福祉課長 令和2年度策定予定の地域福祉計画の中に、

**答** 成年後見制度利用促進計画を盛り込み、本人や家族が相談、活用しやすい環境づくり

**問** 未対処の要望について、自治会長への連絡の有無は。

**答** 町民生活課長 進捗状況を3カ月ごとに担当課に確認。結果は書面で各自治会長へ報告している。



第1回目の除草作業が済み、きれいになった漆原しだれ桜並木

**三二解説**  
※成年後見制度 認知症や知的・精神障害などの判断能力が不十分な人に代わり、弁護士や司法書士、親族らが預貯金の管理や福祉サービスの手続きなどを支援する制度。



こいけ はるお 小池 春雄 議員



録画映像は  
こちらをCHECK

# 町に合った弱者支援制度が必要

## 答 アンケート調査結果で研究検討

**問** 町長の選挙公約に子育て・弱者支援制度の積極的活用とある。制度があれば積極活用ができるが、この制度が不十分だと思う。吉岡町に合った制度が必要では。

**答** 町長 本年度「吉岡町子ども・子育て支援事業計画」の策定で、アンケート調査を実施済み。また、高齢者保健福祉計画及び吉岡町地域福祉計画策定のためのアンケートを実施予定。その結果を踏まえ、子育て世代から高齢者に至るまで必要な支援制度について研究検討。

**問** 「子どもの貧困対策の推進に関する法律」ができた。子ども7人に1人が貧困と言われている。この法律は地方公共団体に、当該地域の状況に応じた施策を策定し、実施する責務を課している。このような問題への町長の考えは。

**答** 町長 現在町では、学習支援を行っている。来年度以降、子ども食堂なども検討。

**問** 「子どもの貧困対策に関する大綱」で、就学援助制度に関する周知がある。保護者に理解できるように周知が不十分だと思いが、改善への町長の考えは。

**答** 町長 各市町村が独自に行う形になっている。他町村などを参考に検討。

**問** 役場窓口の対応改善は、どのような問題を改善しようとしているのか。

**答** 町長 来庁者に対する総合案内を設け、複雑多様化した行政手続きを分かりやすくする。来庁者の動線を意識した窓口配置。構造上の問題や集約す

る業務の課題。これらを機構改革の中で検討。

**ミニ解説**  
※子どもの貧困対策の推進に関する法律  
子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備するとともに、教育の機会均等を図るため、子どもの貧困対策を総合的に推進することを目的とするもの。

### 町長の給与カットは

**問** 町長の選挙公約で特別職の給与カットがある。すぐにでき

**答** 町長 できるだけ早く決める

**問** 町長の選挙公約で特別職の給与カットがある。すぐにでき

**答** 町長 できるだけ早く時期に決めた



住民ニーズの変化の中、役場の窓口対応など機構改革と合わせた改善が求められる